



10月やっと酷暑もおさまって 秋の風
我が家の庭や門先では 夏のひまわり・朝顔に栄養を取られていたのか、
千日紅の花が元気に花を咲かせ、夏の庭から大きく様変わりしています。
近くの里では咲くのが遅れていた彼岸花がお彼岸を過ぎて 一機に咲きだした



関西は阪神・オリックス セ・パ同時優勝に沸く秋の訪れ うれしい秋に !!



オリックスの日本一パレードでファンに手を振るイチロー選手(車左上端)ら
=1996年11月17日、神戸市中央区

18年ぶりのリーグ優勝を飾り、ファンの声援に応える当時の星野仙一監督(左端)とタイガースサイン=2003年11月3日、神戸市中央区



阪神・オリ、神戸と大阪で同日パレード



阪神に続きオリックスも優勝

阪神なんば線大阪湾岸シリーズが実現すればうれしいね。

添付は神戸新聞切り抜き。

大阪・神戸の両方で 同日優勝パレード実現

うれしい秋になりました。

また ひそかにインフル・コロナが拡大中

関東は連日 線状降水帯の集中豪雨 すごい雨。

柏や安孫子の街中まで すごいことに。 いかがでしょうか・・・

どうか無理せずご注意ください。

お彼岸が来るのに酷暑で まだ西神戸の田園を飾る彼岸花はちらほら

本当に地球温暖化がダイレクトにわが身にも降りかかる時代になりました。

お互い感度をあげて 頑張らねばと。

God Be With YOU!! 2023.9.22. 神戸中西

神戸の秋の風物詩 2023 稔りの秋を迎えた西神戸・東播磨 里の秋



「頭を垂れる稲穂が黄金色に輝く田園の畔を彩る彼岸花」近隣の里で

すぐ近くの白川の里 & 丹生山塊を超えて北東の淡河の里へ

2023.9.23. -9.25.

神戸の西に広がる田園地帯の秋の風物詩の里景色を求めて、お彼岸が過ぎて、一機に彼岸花が咲きだした西神戸の田園。「お彼岸が過ぎれば、一機に彼岸花が咲く」とよく言われますが、一週間前は全くみられなかった彼岸花。急に涼しくなって黄金色になった田園の畔を真っ赤に飾っています。彼岸花には季節の変化 朝夕の冷気の信号が必要なんだと。

また、平年からの約2週間の遅れだと里で聞きました。

年々季節感が薄れる昨今ですが、

うれしい「黄金色にして頭を下げる稲穂の畔を真っ赤に飾る」近隣西神戸の里の秋

近隣の西神戸の田園を巡りました。

デジカメの調子悪く思い通りのPhoto撮れずですが、うれしい秋のみのりの秋の里景色です。

神戸の秋の風物詩 **みのりの秋を迎えた西神戸・東播磨 里の秋**

1. 「頭を垂れる稲穂が黄金色に輝く田園の畔を彩る彼岸花」近隣の里で
すぐ近くの白川の里 & 丹生山塊を超えて北東の淡河の里へ
2. 東播磨の丘陵地 酒米「山田錦」の郷 酒米栽培地の畔を飾る酒蔵の旗
3. 小野アルプス山裾を一面真っ白に染めて純白の蕎麦の花が咲くそば畑
加古川西岸 小野市来住 きすみ野のそば畑
4. 秋の七草「藤袴」の花に群がる渡りの蝶「アサギマダラ」の飛来を探して
西六甲の散歩道 横尾山山腹横尾道&旗振り山 藤袴の保護栽培地で



西神戸の秋の風物詩 2023

白川街道 北須崎 白川の里 堤上の集落内の道脇に咲く彼岸花 2023.9.23.



西神戸の秋の風物詩 2023

秋の稔り 頭を垂れた稲穂 黄金色の田園を渡る秋の風 丹生山を背に田園が広がる北神戸 山田の里 2023.9.26.



西神戸の秋の風物詩 2023

東谷/淡河への道 県道458号 丹生山塊山麓 2023.9.26.



東播磨の秋の風物詩 2023

雨の緒野台地の坂道より眺める 中央を千鳥川が流れ下る田園の奥に広がる木梨の里 2023.9.25. 家並の背後中国道沿いにも広大な酒米山田錦の栽培地が広がっている



東播磨の秋の風物詩 2023

東播磨小野アルプスの山裾 小野市来住野 毎年終花の季節になると見世出がける加古川市 来住野蕎麦の風物詩



西神戸の秋の風物詩 2023

美しい渡りの蝶「アサギマダラ」飛来 2023.10.3. 横尾道(山腹の道野路寄の丘頂部) 藤袴保護地で

1. 「頭を垂れる稲穂が黄金色に輝く田園の畔を彩る彼岸花」近隣の里で
すぐ近くの白川の里 & 丹生山塊を超えて北東の淡河の里へ

● 西神戸の秋の風物詩 2023


稔りの秋 頭を垂れる穂稲 黄金色の田を秋の風が渡りゆく
北神戸の丘陵地 丹生山塊の北の淡河の秋の里景色 2023.9.26.





秋の稔り 頭を垂れた稲穂 黄金色の田園を秋の風
丹生山を背に田園が広がる北神戸 山田の里 2023.9.26.





秋の稔り 頭を垂れた稲穂 黄金色の田園を秋の風
丹生山を背に田園が広がる北神戸 山田の里 2023.9.26.

この丹生山塊を北に越えた裏側の丘陵地に広がる淡河の里
いつもどんな里景色を見せてくれるかと期待一杯で山を越える



北神戸 山田の里では もう刈入作業が始まっていました 2023.9.26.



箕谷/淡河への道 県道458号 丹生山塊山越 2023.9.26.
眼下に広がる田園地帯 淡河の里 背後を東西に走る中国道
四季折々 色を変えて現れる田園のパッチワーク秋色に



北神戸の田園地帯 淡河の里の秋 2023.9.26.





四季折々眺めに来る淡河の里景色 秋の淡河 2023.9.26.



2023.9.26. 丹生山越より眺める淡河の郷

1. 「頭を垂れる稲穂が黄金色に輝く田圃の畔を彩る彼岸花」 近隣の里で
すぐ近くの白川の里 & 丹生山塊を超えて北東の淡河の里へ

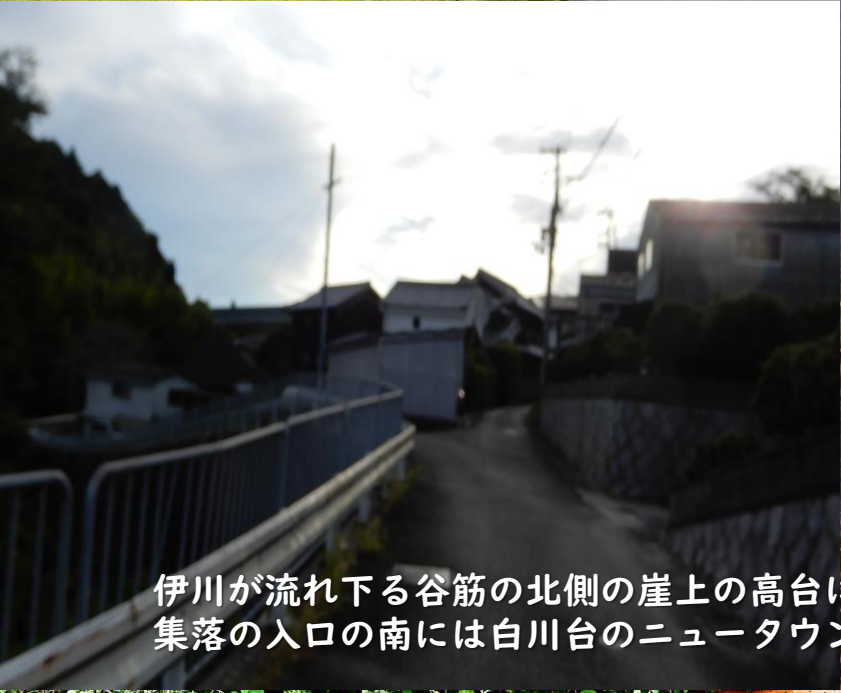
● 西神戸の秋の風物詩 2023 彼岸花が咲く里景色
白川街道 白川峠北の白川の里で 2023.9.23.



自宅のある妙法寺 若草の丘から北へ 白川峠を越えたところにある毎日walkでよく通う小さな集落。南の伊川谷へ流れ下る伊川の源流域の谷川沿いの小さな集落で、谷川に沿う狭い丘の上に集落段々畑がひろがっている。お彼岸が過ぎて、もう彼岸花が咲きだしたろうと一番先に訪ねました。集落を渡る阪神高速北神戸線の下を伊川が流れ下る谷筋、黄金色に色づき始めた棚田の畔に眼を凝らすと畦に彼岸花が咲いているのが見える。やっと咲きだした今年の彼岸花 彼岸花への思いは人それぞれ。私には夏が終わり秋到来を告げる里の風物詩です。



県道神戸三木線白川峠の北 伊川が流れる細い谷筋に広がる白川の里 2023.9.23.



伊川が流れ下る谷筋の北側の崖上の高台に広がる白川の里 集落内坂道の際にも彼岸花
集落の入口の南には白川台のニュータウンの高層住宅が見えている 2023.9.23.



西神戸 初秋の風物詩 西神戸 白川峠北 白川の里で 2023.9.23



西神戸秋の風物詩 彼岸花の里の秋 白川峠北白川の里で 2023. 9. 23



西神戸秋の風物詩 彼岸花の里の秋 白川峠北白川の里で 2023. 9. 23



西神戸 初秋の風物詩 西神戸 白川峠北 白川の里で 2023. 9. 23.



西神戸 初秋の風物詩 稔りの秋を約束する伊川谷の郷の彼岸花



西神戸 初秋の風物詩 西神戸 白川峠北 白川の里で

2023. 9. 23.



久しぶりに白川の里の中に入ったの彼岸花walk
うれしい秋到来を実感 2023.9.23.



ほんの1週間前はまだ彼岸花が全く咲いていませんでしたが・・・

「約2週間ほどの遅れ、稔りの稲穂を守るため、モグラ対策で畔に植えた 彼岸花。

畦は機械で雑草と共にかりとるため、それもなくなって彼岸花もめっきり少なくなった」と



白川街道 北須磨 白川の里 彼岸花 2023.9.23.





崖上の集落内の道脇や空き地にも彼岸が咲き、落ち着いた里景色を演出 2023.9.23.

白川の里の畔に咲いていた花がきれいだったのでパチリ
近くの田園地などでも時々見かける花 何の花かなあ・と。

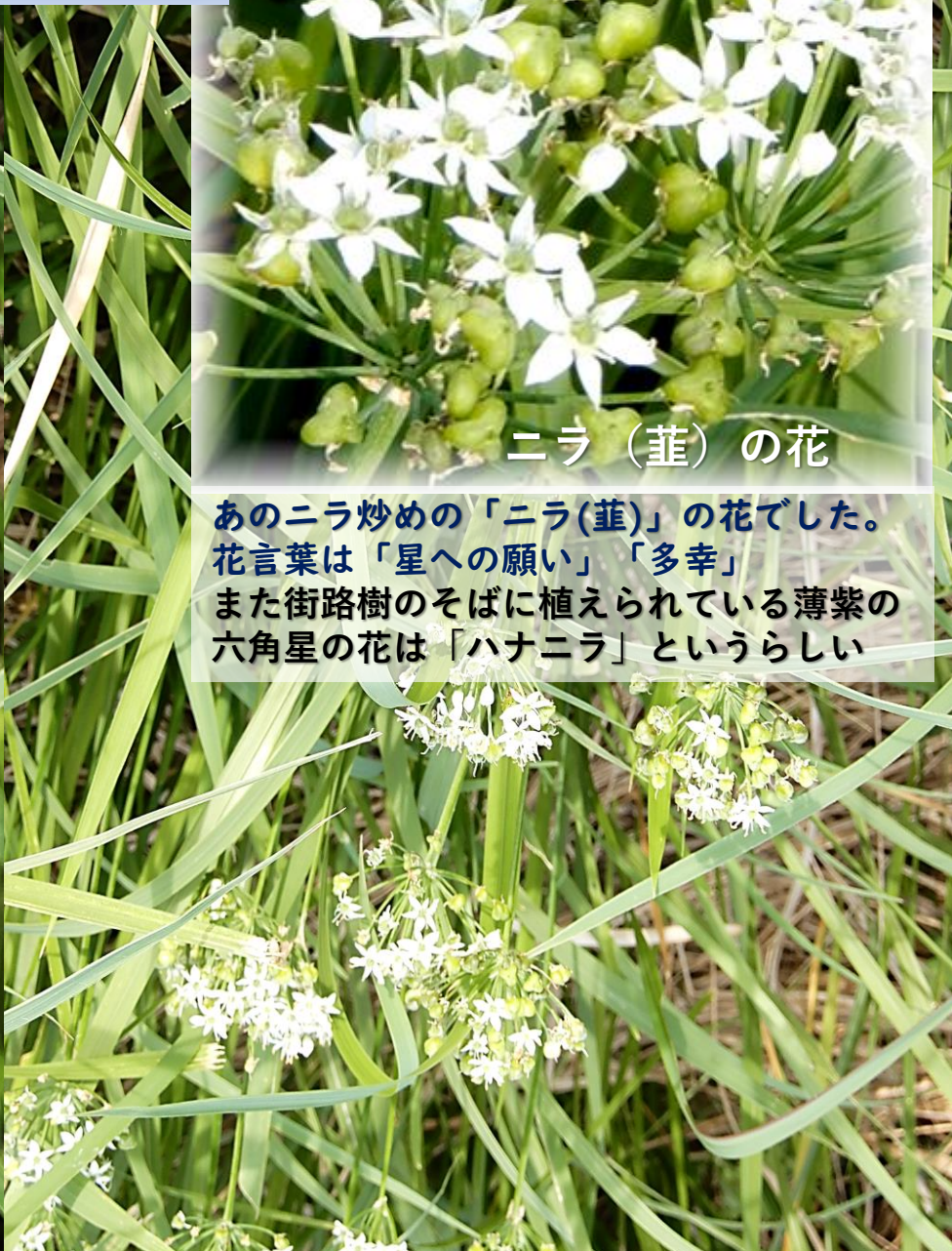


ニラ



ニラ（菰）の花

あのニラ炒めの「ニラ(菰)」の花でした。
花言葉は「星への願い」「多幸」
また街路樹のそばに植えられている薄紫の
六角星の花は「ハナニラ」というらしい





白川の里の鎮守 大歳神社境内に
どっしり座って里を見守る巨樹 2023.9.23.





秋の稔り 頭を垂れた稲穂 黄金色の田園を渡る秋の風
丹生山を背に田園が広がる北神戸 山田の里 2023.9.26.

西神戸の秋の風物詩 2023

秋の空が美しい北神戸 山田の里
もう刈入作業が始まっています 2023.9.26.

西神戸の秋の風物詩 2023



四季折々眺めに来る淡河の里里景色 秋の淡河 2023.9.26.

西神戸の秋の風物詩 2023



2023.9.26. 丹生山越より眺める淡河の郷

西神戸の秋の風物詩 2023



白川街道 北須磨 白川の里 崖上の集落内の道脇にも 彼岸花 2023.9.23.



西神戸の秋の風物詩 2023

2023.9.23.
久し振りに白川の里の中に入っの彼岸花walk
うれしい みのりの秋到来を実感

西神戸の秋の風物詩 2023

西神戸秋の風物詩 彼岸花の里の秋 白川峠北白川の里で 2023. 9. 23

神戸の秋の風物詩 2023 稔りの秋を迎えた西神戸・東播磨の秋 里景色



「頭を垂れる稲穂が黄金色に輝く田園の畔を彩る彼岸花」近隣の里で すぐ近くの白川の里 & 丹生山塊を超えて北東の淡河の里へ 2023.9.23. -9.25.

神戸の西に広がる田園地帯の秋の風物詩の里景色を求めて、お彼岸が過ぎて、一機に彼岸花が咲きだした西神戸の田園。「お彼岸が過ぎれば、一機に彼岸花が咲く」とよく言われますが、一週間前は全くみられなかった彼岸花。急に涼しくなって黄金色になった田園の畔を真っ赤に飾っています。彼岸花には季節の変化 朝夕の冷気の信号が必要なんだと。

また、平年からの約2週間の遅れだと里で聞きました。

年々季節感が薄れる昨今ですが、

うれしい「黄金色にして頭を下げる稲穂の畔を真っ赤に飾る」近隣西神戸の里の秋

近隣の西神戸の田園を巡りました。

デジカメの調子悪く思い通りのPhoto撮れずですが、うれしい秋のみのりの秋の里景色です。

久し振りBGMに「野風僧」のピアノメロディを入れました

2023年穂りの里を飾る彼岸花

2023.9.25. 西神戸 白川の里で

花言葉は 思い出・また逢う日を楽しみに

「再会」「情熱」「独立」「あきらめ」など

思いは人それぞれ でも いつも この季節 そばにいてくれる花

夏の暑さから解放され、秋到来のうれしい知らせを運んでくれる花

God Be with You!!

2023.9.25. From Kobe Mutsu Nakanishi